



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 株式会社MARIWA 上場取引所 東 証
 コード番号 5344 URL <https://www.marwa-e.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 健郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 次介 TEL 0561-51-0841
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

百万円未満切捨

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示法、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	33,115	△4.9	10,843	△15.2	11,123	△7.3	7,413	△12.2
2025年3月期中間期	34,822	24.1	12,789	47.9	11,959	24.8	8,440	24.5

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 0.000百万円 (△0.0％) 2025年3月期中間期 0.273百万円 (24.7％)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	600.79	—
2025年3月期中間期	604.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		総負債		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	
2026年3月期中間期	147,915	135.300	135.300	91.5	
2025年3月期	142,285	127.854	127.854	89.9	

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 135.300百万円 2025年3月期 127.854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	47.00	—	47.00	94.00
2026年3月期	—	51.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	51.00	102.00

(注) 直近に発表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示法、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％		
通期	75,100	4.5	27,000	0.3	—	—	—	—

(注) 直近に発表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年9月期中間期	12,372,000株	2026年9月期	12,372,000株
2026年9月期中間期	33,299株	2026年9月期	33,112株
2026年9月期中間期	12,339,292株	2026年9月期中間期	12,339,942株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	3
（1）当中間期の経営成績の概況	3
（2）当中間期の財政状態の概況	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（連結企業の前段に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等の注記）	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間は、半期と各国間の関税の動向が懸念されたほか、中東・ウクライナ情勢により地政学リスクが懸念される状況が継続しました。ハイテク市場においては、生成AI関連の幅広い分野での技術進化や投資の活発化が見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、次世代高速通信関連は高水準で推移したものの、車載関連、半導体関連で市況が弱含んだことにより、売上高は前年同期比4.9%減の33,115百万円、営業利益は前年同期比15.2%減の10,845百万円、経常利益は前年同期比7.5%減の11,125百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比12.2%減の7,415百万円となりました。

通期としては、第3四半期から車載、半導体関連で回復傾向を見込んでいるほか、生成AI市場の市場成長を背景として、第4四半期から次世代高速通信向けで次期モデルが本格的に立ち上がることで、情報通信関連の成長が加速する見通しです。売上高781億円、営業利益270億円と過去最高の増益を見込んでおります。

なお、2026年3月期の年間配当金は、8円増配の102円/株を予定しております。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

① セラミック部品事業

当事業は、情報通信関連は堅調に推移した一方、半導体関連、車載関連で市況が弱含みました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比5.8%減の33,950百万円、セグメント利益は前年同期比19.0%減の10,945百万円となりました。

通期としては、車載関連、半導体関連で回復傾向を見込んでいるほか、次世代高速通信向けで次期モデルが本格的に立ち上がることで、情報通信関連の成長が加速し、増収増益となる見通しです。

② LED照明事業

当事業は、2027年禁光灯製造禁止によるLED需要の増加や首都圏の高級新築マンション市場の拡大に伴い、ハイエンド照明を中心に堅調に推移いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比1.5%増の4,164百万円、セグメント利益は前年同期比4.4%増の702百万円となりました。

通期としても、首都圏の高級新築マンション市場向けのハイエンド照明を中心に、堅調な業績が継続する見通しです。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は99,535百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円減少いたしました。これは主に売掛金が減少したことによるものです。固定資産は30,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,584百万円増加いたしました。

これらの結果、総資産は147,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,639百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は12,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,083百万円減少いたしました。固定負債は515百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。

これらの結果、負債合計は12,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,876百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は135,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,506百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益7,415百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は91.8%（前連結会計年度末は89.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月28日に公表した2026年3月期通期の連結業績予想について、上期の実績を踏まえ変更を行います。

なお、下期については、次世代高速通信向けの増産により成長が加速する見通しとなっており、通期では増収増益を見込んでおります。

現時点の当社の市場動向の認識及び社内状況は下記の通りです。

情報通信関連事業は、通期計画に対し上振れで進捗する見通しです。次世代高速通信の次期モデルが本格的に立ち上がることに伴い、ハイエンド需要が一層強くなっていることから、来期も一層期待が持てると考えています。

車載関連事業は、新モデルや車関連は市況によりスローダウンも、在庫調整から回復傾向を見込んでおります。中長期的な成長のため、自動化や歩留まり向上によるさらなる収益体制の強化を図ってまいります。

半導体関連事業は、汎用メモリ関連の需要の本格的な回復は遅れが見られるものの、需要を回復が見られます。生成AI関連の需要が好調に推移しているほか、高純度SiC照明化製品の拡大に伴い、下期から売上拡大の見込みとなっています。

産業機械関連事業は、ハイリーマージュール関連は市況によりスローダウンも、医療関連の新製品は需要が増加しております。

照明施設関連事業は、2027年蛍光灯製造禁止によるLED需要の増加や首都圏の高額新築マンション市場の拡大に伴い、ハイエンド照明が堅調に推移しています。

収益面については、工場での自動化に加え、新製品の歩留まりのさらなる改善により、収益力向上を図ってまいります。なお、経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

当社は中期計画として2028年度売上1000億円を計画しておりますが、その目標達成に関し、変化する取市場動向を勘案しても順調に進んでおりますことを報告いたします。

本通期連結業績予想の想定為替レートは、期初予想時の1ドル144円から変更ありません。

目、中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

資産の部	（単位：百万円）	
	前連結会計年度 （2025年3月31日）	当中間連結会計期間 （2025年3月30日）
流動資産		
現金及び預金	71,700	75,400
受取手形	100	0
売掛金	15,400	11,140
短手形等債権	1,310	1,100
前払金及び前払金	5,640	5,800
仕掛金	0,000	0,000
原材料及び貯蔵品	8,800	8,700
その他	5,000	5,000
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	108,850	107,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,900	15,100
機械装置及び運搬具（純額）	10,000	10,000
土地	0,000	0,000
建設仮勘定	0,000	0,000
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	24,900	25,100
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産	5,100	5,100
固定資産合計	30,000	30,200
資産合計	138,850	137,240

《単位：百万円》		
	前年度会計年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,948	3,139
短手形負債	0	0
未払法人税等	4,929	5,157
賞与引当金	1,191	1,026
役員賞与引当金	1	7
その他	5,685	5,673
流動負債合計	15,654	15,002
固定負債		
繰延税金負債	131	149
その他	365	365
固定負債合計	496	514
負債合計	16,150	15,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,640	3,640
資本剰余金	12,103	12,103
利益剰余金	10,670	11,833
自己株式	△153	△223
株主資本合計	16,260	17,353
その他の純利益累計額		
その他の有価証券評価変動額	39	117
為替換算調整勘定	1,895	2,185
その他の純利益累計額合計	1,934	2,302
純資産合計	18,194	19,655
負債純資産合計	14,256	14,711

(2) 中間連結損益計算書及びCP中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間	
	自 2024年4月1日	至 2024年3月31日	自 2025年4月1日	至 2025年3月31日
売上高		84,855		85,118
売上原価		16,101		16,056
売上総利益		19,755		17,062
販売費及び一般管理費		6,930		6,248
営業利益		12,799		10,814
営業外収益				
受取利息		66		557
受取貸付料		66		64
その他		75		111
営業外収益合計		207		412
営業外費用				
売却損		969		60
支払利息		0		—
投資不動産減価費用		31		29
繰上償還費用消滅損		—		40
その他		27		14
営業外費用合計		1,027		143
経常利益		11,979		11,123
特別利益				
固定資産売却利益		0		1
投資有価証券売却利益		—		8
補助金収入		2,870		42
特別利益合計		2,870		49
特別損失				
固定資産除売却損		66		51
固定資産売却損		2,669		42
その他		—		1
特別損失合計		2,735		94
税金等調整前中間純利益		12,114		11,059
法人税、住民税及び事業税		5,748		5,814
法人税等調整額		△89		170
法人税等合計		5,659		5,644
中間純利益		6,455		7,415
税金等調整に帰属する中間純利益		6,455		7,415

（中間連結包摂利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
中間包摂利益	8,430	7,418
その他の包摂利益		
その他の包摂利益	△80	77
為替換算調整勘定	000	000
その他の包摂利益合計	000	077
中間包摂利益 （内訳）	8,430	8,090
親会社株主に係る中間包摂利益	8,430	8,090

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:百万円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	12,128	11,097
減価償却費	2,189	2,429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51	△88
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8
固定資産売却損益(△は益)	96	50
受取利息及び受取配当金	△105	△245
支払利息	0	—
補助金収入	△2,876	△87
固定資産増減損	2,365	42
売上債権の増減額(△は増加)	335	1,499
仕入債権の増減額(△は増加)	△334	735
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,180	164
その他	1,020	△338
小計	15,852	15,892
利息及び配当金の受取額	105	245
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,895	△8,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,109	9,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	55
有形固定資産の取得による支出	△5,859	△8,471
有形固定資産の売却による収入	0	9
有形固定資産の売却による支出	△75	—
無形固定資産の取得による支出	△93	△29
投資有価証券の取得による支出	△133	△40
投資有価証券の売却による収入	—	199
補助金の受取額	5,676	187
その他	8	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	△6,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△4
配当金の支払額	△520	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520	△583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,553	712
現金及び現金同等物の期首残高	88,015	71,868
現金及び現金同等物の中間期末残高	97,568	72,580

- (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項
(連結企業の前掲に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

- (セグメント情報等の注記)
【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラクミッタ部商 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,718	4,104	34,822	—	34,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	28	31	△31	—
計	30,721	4,132	34,853	△31	34,822
セグメント利益	13,036	493	13,529	△739	12,790

- (注) 1. セグメント利益の調整額△739百万円には、セグメント間取引消滅31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△761百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラクミッタ部商 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,950	4,164	33,114	—	33,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	4	△4	—
計	28,954	4,164	33,118	△4	33,114
セグメント利益	10,945	702	11,647	△804	10,843

- (注) 1. セグメント利益の調整額△804百万円には、セグメント間取引消滅36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△851百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。